

CHALLENGER

[挑戦者たち] ⑧



たんとう

チューリップまつり

今年で早14回目を迎える
春の風物詩、たんとうチューリップまつり。
時代の波にあえぐ球根農家の挑戦が、
やがて町中を動かし、大輪の花を咲かせる。

プロローグ

「弁当忘れても、傘忘れるな」

これは変わりやすい但馬の気候を表した言葉である。さつきまで晴れていた空が急に曇り出し、雨が降る。特に秋は時雨が多い。大事な作物の種植えの時期となる農家にとって、こつした天候は悩みの種だ。

常に乾いた状態で種をまかしないと根が腐りやすくなり、作物の生育も悪くなる。土を掘り起こして種を植え、また土をかぶせる。この時、雨が降ることは絶対に許されない。球根農家にとって、その年の出来を大きく左右する重要な一日である。

2004年、秋。今や但馬の春の風物詩になった、たんとうチューリップまつり「の会場でも、大事なチュー

リップの球根植え作業が行われようとしていた。ひどく空を気にする男がいた。実行委員長である球根農家の霜倉だ。

まつりではチューリップの花を描く「フラワーアート」を制作するために1日と合計3日いる。霜倉にとって、毎日、天気予報を見ることは日課となっていた。毎年、秋は胃の痛い思いをします」と彼は話す。3日間ずっと晴れていなければ、来年のまつりは失敗に終わることを意味していた。しかし、誰一人その重圧から逃げ出そうとするものはいない。

「お客さんの喜ぶ顔が見たい」「チューリップが一面に咲いた田んぼで、子供が走り回る姿を見たい」と、もくもくと作業をこなす農家の面々。

なにが彼らをそうさせるのか。

押し寄せる時代の波

「最後にバツと花でも咲かせよう」
チューリップまつりは、半ばあきらめともいえる農家の悲鳴から始まった。但馬東部・但東町のチューリップ栽培の歴史は古く、昭和24年にさかのぼる。種苗業者と契約栽培をしたことで定着し、現在は6農家。米作りの裏作として、田んぼで球根栽培が行われてきた。最盛期には30戸の農家で80万球を出荷するほどで、農家の家計を支える柱のひとつとしてなくてはならないものであった。

しかし、時代が平成に移ると、自由化の波がおそう。値段の安い外国の球根が市場に出回るようになったのだ。出荷数は落ち込んでいった。



のどかな
田園の湯に浸る。

静かな山里で
くつろぐ。



閑静な山里で
地の味を楽しむ。



みんなに優しい
バリアフリー設計。

〒668-0361 兵庫県出石郡但東町正法寺165
お問合せ TEL.0796-54-0141 FAX.0796-54-0848



写真提供：但東町役場



また、過疎による生産農家の高齢化も事態に追い打ちをかける。栽培をやめていく農家がまたひとつと増えていった。ほとんどの農家が自信を失い、球根栽培の歴史に幕が閉じてしまったと思っていた。

そんな時、ある球根農家から、町内あちこちで栽培している球根をひとつに集めて作ったらきれいだろうな。チューリップが咲いている時は、一枚の田んぼでも足を止めて見てくれる人がいる」という声があがる。

「花見もできて、地域の活性化につながる。「このまま終わるのもしゃくだ。最後に一花咲かせようか」そんな投げやりな気持ちだったと、実行委員長の霜倉は振り返る。

こうして、みんなでひとつの集落に田んぼを借りて、球根栽培を行うことが決まる。また、同時にチューリップまつりを開くことになった。第1回目は今より規模は小さく、期間もわずか2日間の開催。そこで盛り上げれば、「といった程度の気持ちしか球根農家にはなかった。

「このイベントが再び、彼らに「自信」と「希望」をもたらすことになる」と、この時まだ誰も知らない。

動き始めた心

平成4年、春、第1回チューリップ

まつりが開催された。すべて農家による手作りのイベント。田んぼというところもあり、雨の日は泥だらけ入場者の対応も十分にできない状態だったが、評判は上々だった。翌年の第2回目も無事終了。まつりは町内で徐々に定着しつつあった。

訪れる人からかけられる、綺麗だ、感動したの声。自分たちのやうなことで、見ず知らずの人が感動してくれる。農家の面々は喜びを感じると同時に、自分たちの心が少しずつ変わり始めていると感じていた。

「もっと人と人を喜ばせたい」「軽い気持ちで始めた心のつぼみは、確実に花開こうとしていた。普段、直接消費者の声を聞くことがない農家の人々にとって、様々な人々との交流は生きる活力になっていた。そんな折、第3回目は、但馬・理想の都の祭典」のイベントのひとつに組み込まれることとなる。

「これはチャンスだ！」心に期する農家の面々。彼らはある出来事を思い出していた。それは、福知山市へ開催予告の看板を設置にいったときのことだった。

「但東町はどこにあるんですか？」思いがけない一言だった。隣町を知らないこの現実が、がく然とした。「チューリップまつりで但東町をも



ニュースタイル! ブルーリッジウェディング

ブルーリッジウェディングは提案のスタイルを一新し、ホテル施設・料理や衣裳・美容などをアイテムごとにツールアルバムをラインアップ。ブライダルのあらゆる情報をご提案いたします。







GRAND CHAPEL JURALE
ジュラール

感動を呼ぶクラシカルテイストのチャペル。



オリックスグループ
ブルーリッジホテル
神鍋高原

兵庫県城崎郡日高町栗栖野55 〒669-5372
婚礼受付 Tel(0796)45-1400
<http://www.orix.co.jp/blridge/>



「つとよく知ってもらいたい」
大きな夢を抱き始めた球根農家の挑戦が始まった。

フラワーアートへの挑戦

「ただ花を咲かせるだけでは面白くない。チューリップで絵を描こう」
今もまつりの目玉である「フラワーアート」はここからスタートした。

しかし、今まで誰も作った経験はない。本当にうまくいくのか、半信半疑だった。ただ、絵を描けばいいものではない。高さ5メートルの展望台の角度から立体的に見えるように、ゆがみを計算しないとイケなかった。描くキャンバスは縦70メートル、横30メートルの田んぼ。大きなモノだけ

に、バランスをとるのも一苦勞した。しかも、出来上がりは実際に花が咲いてみないと分からない。花が咲いてからでは大きな変更もできないため、なにより種植作業は慎重に行われた。設計図は、何度も何度も作り直されたものだった。

そして、開花を迎える。そこにはチューリップで鮮やかに描かれた「日本列島」の絵が浮かびあがっていた。本列島の絵に走る1本の線、子午線が通る町・但東町をアピルしたいという、球根農家の心意気がそこには込められていた。

話題性は抜群。なんと全国紙の一面を、空撮された「フラワーアート」がカラーで飾られることになった。それにより、予想をはるかに超える人出で、全国各地から訪れたたくさんの人で会場は賑わう。入場者数は前年の5倍、約1万5千人がその美しさに魅せられた。

今まで感じたことのない充実感にひたる農家の人々。みんな生き生きとした笑顔にあふれていた。

「この成功は大きな自信になりました。自分たちもやればできる、捨てたもんじゃないうて、それぐらい町内外を問わず評価が高かった。チューリップまつりはただ田んぼに花が咲いているだけのまつりです。それ

以外はなんにもありません。それでもお客さんは笑顔でありがとうと帰っていく。花のもつパーに驚かされると同時に、自分たちのやってきたこと、仕事への誇りを以前より強く持てるようになりました」

先人たちが残した球根栽培の根を絶やしてなるか。そこには自由化の波に押され、自暴自棄になつていったかつての姿はなかった。ただ前向きに取り組む人々の姿があった。

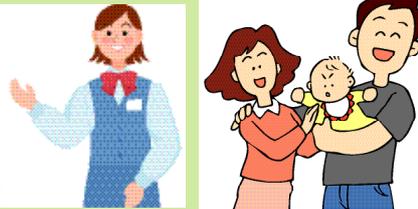
花は今日も咲き続ける

2004年、秋、3日間による球根植え作業が終わった。天候の読みも完璧に当たり、今後2カ月かけて来春のイベントに取りかかれると農家の人々は水と胸を撫で下ろした。始めは軽い動機で始まったチューリップまつり。このイベントを通して一番変わったのは自分たち農家だと言口を揃えて言う。

「普段、農家は一匹狼が多くて、第三者から直接感動の声を聞いたり、ふれあったりすることがありません。このまつりをするようになって、感謝されることへの喜びを知りました。その笑顔を見たいから、また次も頑張ろうと思う。とにかくみんな仕事でお礼をいわれたことがなかったんです。去年より今年、もっとも

不動産のことなら ライフフィットへ!

アパート、マンション、貸家、土地、中古住宅の
売買など、なんでもライフフィットへ!お気軽にご相談ください。



本店 豊岡市幸町4番4号 TEL.0796-24-2011 FAX.0796-24-2077
豊岡駅前店 豊岡市大手町1番27号 TEL.0796-26-6565 FAX.0796-26-6566
ご希望の物件情報を検索できます 大好評!情報誌「ライフフィットタイムズ」進呈中!!



株式会社 ライフィット
(社)兵庫県宅建物取引業協会 宅地建物取引業者免許
兵庫県知事(3)第650061号
ホームページ <http://www.lifit.jp>
E-mailアドレス info@lifit.jp



2005年のフラワーアートはなんでしょうか?(写真提供:但東町役場)



球根の品種や位置を間違わないよう、慎重に作業が行われる
(写真提供:但東町役場)



まつりには毎年約7万人が訪れる

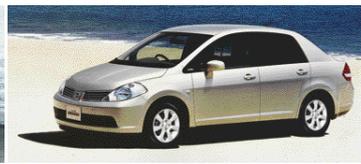
つと見に来てくれる人を喜ばせたい。「この気持ちがいままで続けてこられた理由です」
こつした変化は農業に対する姿勢にも影響を与えた。消費者を意識したもののづくり。常に視線の先には喜ぶ人の顔がみえるようになった。
しかし、まつりが成功するにつれて、課題も始めている。
「たんとしチューリップまつり」のよさは、なんとしてもその素朴さにある。テーマパークにならないように、できるだけ自然の形で花をみせることを続けてきたが、今では約7万人が訪れるビッグイベント。入園者を管理するため、昔はなかった網が張られるようになってしまった。イベントが大きくなるうれしさの反面、作りのあたたかさが弱まるという矛盾

が出始めている。
「田んぼの中を子供どもたちが泥だらけになりながら走り回る。そんな光景って素敵じゃないですか。イベントが始まって10年以上経つ今、もう一度原点にかえって、自然のよさを体験できるイベントにしよう」と話し合っています」
実行委員長の霜倉は、そんな計画があると笑みを浮かべ教えてくれた。
今年で早14年目を迎える、たんとしチューリップまつり」。球根農家の人々が最後と思いついた花は、着実に大地に根を張り、今も力強く咲き続けている。
開催日程:4月中旬~下旬、問い合わせは但東シルクロード観光協会(0796・54・0500)

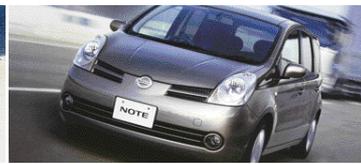
2005 NEW Model



TIIDA



TIIDA LATIO



NOTE



LAFESTA



SHIFT_compact flexibility

日産全車種取扱い
日産但馬販売株式会社

お気軽にご来店ください。お待ちしております。

本社営業所
豊岡市九日市下町
TEL.0796-23-2332

豊岡北営業所
豊岡市中陰
TEL.0796-23-2323

八鹿営業所
養父市八鹿町八鹿
TEL.079-662-2223

和田山営業所
和田山町枚田岡
TEL.079-672-0023